

専門分野

小児看護学

授業科目	小児看護学概論	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	小児看護学援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		2年次	1	30		高氏美奈子			2年次	1	30		高氏美奈子
学習目標	1. 子どもの特徴と小児看護の概念を理解する。 2. 子どもの成長発達の特徴と健康増進のための看護を学ぶ。 3. 小児保健統計を踏まえ、地域で暮らし育つ子どもを支える法律や保健対策を理する。						学習目標	1. 疾病・障害が子どもと家族に与える影響が理解できる 2. 子どもの置かれている状況に応じた看護が理解できる 3. 子どもの発達段階における疾病・健康障害の特徴が理解できる。 4. 疾病の経過に応じた看護の特徴が理解できる。 5. 子供の症状に応じた看護が理解できる。 6. 子どもの状態の基本的なアセスメントが理解できる。 7. 検査・処置の受ける子どもの看護が理解できる。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				講師/実務経験	
1	I. 小児看護の特徴と理念 1. 小児看護の目的・目標 2. 子どもの特徴と小児看護の変遷 3. 子どもの人権と看護 生命倫理・児童憲章・児童の権利に関する条約 4. 子どもと家族の諸統計 II. 子どもの成長と発達 1. 成長発達の原則 2. 形態的成長・機能的発達 3. 心理社会的発達 認知、情緒、社会性 コミュニケーション、学び、発達課題 ボウルビイ愛着理論、ピアジェ認知発達、エリクソンの自我発達 4. 発育・発達の評価 III. 子どもの栄養 IV. 子ども各期の特徴と看護 1. 新生児：栄養、感染予防 2. 乳児期：母子関係の確立、母子分離不安、哺乳と離乳 3. 幼児期：基本的生活習慣の確立と情緒の分化 4. 学童期：セルフケアの発達、学校と適応、学習と遊び、第二次性徴 5. 思春期：セルフケアと保健教育、親からの自立・問題行動と家族機能 V. 子どもと家族 VI. 子どもの安全				講義	大久保育美 保健師 実務経験：有 【試験配点】 70点	1	I. 疾病・障害を持つ子どもと家族の看護 1. 疾病障害が子どもと家族に与える影響 2. 子どもの健康問題と看護 II. 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護 1. 入院中の子どもと家族の看護 2. 外来における子どもと家族の看護 III. 発達段階における看護 1. それぞれの発達段階における疾病・健康障害の特徴 新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期 IV. 子どもにおける疾病の経過と看護 1. 慢性期 2. 急性期・周手術期 3. 終末期 V. 症状を示す子どもの看護 不きげん、啼泣、痛み、呼吸困難、チアノーゼ、ショック、発熱、嘔吐、下痢、便秘、脱水、浮腫、出血、貧血、けいれん、意識障害、発疹 VI. 子どものフィジカルアセスメント 子どもの急変時の対応 救命処置				講義	岡崎明日香 看護師 帯広厚生病院 実務経験：有 【試験配点】 20点
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10	VII. 小児保健の動向と対策 小児保健医療福祉に関する法律と政策 1. 児童福祉 1) 児童福祉の変遷 2) 子どもの貧困への対策 2. 母子保健 1) 母子保健の歴史 2) 現在の母子保健 法律・施策 3. 医療費の支援 1) 未熟児養育医療 2) 小児慢性特定疾患治療研究事業 3) 難病 4. 予防接種				講義	吉田 沙織 保健師 市民福祉部健康保険室 健康推進課健康づくり係 実務経験：有 【試験配点】 15点	10	VIII. 検査・処置を受ける子どもの看護 1. 検査・処置総論 子どもにとっての検査・処置体験と看護の実際 2. 子どもの薬物療法と看護 ・薬物動態と投与量 ・内服、点耳・点眼・点鼻、注射、点滴時の看護 3. 検体採取時の看護 ・採尿、採便 ・採血 ・骨髄穿刺 4. 排泄を整えるケア 洗腸 5. 呼吸を整えるケア 酸素・吸引・吸入				講義	白銀 悠那 看護師 帯広厚生病院 実務経験：有 【試験配点】 20点
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21	VIII. 子どもと家族を取り巻く社会 1. 子どもと家族を取り巻く社会の諸問題 2. 子どもの虐待と看護 3. 学校保健と特別支援教育				講義	木村 希 市民福祉部子ども福祉室 子育て支援課 実務経験：無 【試験配点】 15点	10	VIII. 検査・処置を受ける子どもの看護 1. 検査・処置総論 子どもにとっての検査・処置体験と看護の実際 2. 子どもの薬物療法と看護 ・薬物動態と投与量 ・内服、点耳・点眼・点鼻、注射、点滴時の看護 3. 検体採取時の看護 ・採尿、採便 ・採血 ・骨髄穿刺 4. 排泄を整えるケア 洗腸 5. 呼吸を整えるケア 酸素・吸引・吸入				講義	白銀 悠那 看護師 帯広厚生病院 実務経験：有 【試験配点】 20点
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22	試験						21	試験					
テキスト	小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論/医学書院 小児看護学[2]小児臨床看護各論/医学書院						テキスト	小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論/医学書院 小児看護学[2]小児臨床看護各論/医学書院					
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験					
先修条件	なし						先修条件	なし					

専門分野

小児看護学

授業科目	小児看護学 援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	小児看護学 援助論演習	開講年次	単位	時間	必修	担当者
		2年次	1	15		高氏美奈子			2年次	1	30		高氏美奈子
学習目標	健康障害をもつ子どもとその家族が生活・療養するための看護を理解する。						学習目標	1. 小児看護の目標と特徴を再確認し、発達や治療経過に合わせた安全・セルフケア力・家族援助などの関わり の視点を理解する。 2. 小児のプレパレーションの目的を理解し、子どもが納得して治療や処置、ケアに臨める援助について考えることができる。					
回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容				授業方法	講師/実務経験
1	I. 主な健康障害と看護 1) 先天異常と看護 2) 新生児の看護・低出生体重児の看護 (保育器の管理を含む)				講義	山口 陽美 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 30点	1	1. 小児の看護過程(総論) 2. 事例紹介				講義	伊藤 由乃 教員 実務経験:有
2							3. 基礎情報の整理						
3	3) 代謝性疾患と看護(糖尿病) 4) 内分泌疾患と看護 5) 免疫疾患、アレルギー・リウマチ疾患 と看護(気管支喘息、JIA)				講義	田野 沙織 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 30点	4	4. 基礎情報の整理 5. アセスメント					
4							6. 行動のアセスメント 7. 刺激のアセスメント						
5	6) 感染症と看護 (麻疹・風疹・ムンプス・髄膜炎) 7) 呼吸器疾患と看護(肺炎・気管支 炎)				講義	久々宇千恵 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 10点	5	8. 刺激のアセスメント 9. 介入計画立案					
6							10. 全体発表会 11. 解説講義						
7	8) 循環器疾患と看護 (先天性心疾患・川崎病) 9) 消化器疾患と看護 10) 血液造血器疾患と看護 (出血傾向にある子どもの看護) 11) 腎疾患をもつ子どもの看護 (腎炎、ネフローゼ症候群) 12) けいれんのある子どもの看護				講義	梶 紗耶香 看護師 帯広厚生病院 実務経験:有 【試験配点】 30点	7	12. プレパレーション講義					
8							13. 行動計画立案						
8	試験						8	14. 幼児期の子どものプレパレーション、環境整備、フィジカルアセスメント				シミュレーション	
9							9	15. デブリーフィング					
テキスト	小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論/医学書院 小児看護学[2]小児臨床看護各論/医学書院						テキスト	小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論/医学書院 小児看護学[2]小児臨床看護各論/医学書院					
評価方法	筆記試験						評価方法	事前学習・グループワークの取り組み・出席状況・レポート課題					
先修条件	なし						先修条件	なし					